

退職者会報

平成25年
4月1日
第148号

一般社団法人 和歌山県職員退職者会
〒640-8585
和歌山市小松原通一丁目1番地(県庁本館4階)
電話・FAX (073) 428-2090
E-mail:w-taisyoku@ec5.technowave.ne.jp

第34回

元気な笑顔で 総会へ行こう！

総会の開催ご案内

陽春の候、会員の皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、本会の運営・活動にあたり格別のご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
さて、平成25年度の総会を次のとおり開催いたしますので、お誘い合わせの上、ご出席ください。
なお、各支部の総会も下記のとおり開催されますので、ご出席くださいますようお願いいたします。
総会後には、交流懇親会も開催いたしますので、日頃のご無沙汰を埋め、お互いの近況を語り合う楽しい一時にさせていただきますようご案内いたします。

平成25年4月1日

一般社団法人 和歌山県職員退職者会
会 長 尾 崎 武 久

日 時 平成25年5月27日(月)
午後2時00分 開会

場 所 ルミエール華月殿
(和歌山市屋形町2-10)
TEL:073-424-9392

- ・議 題
(1) 平成24年度事業報告・収支決算報告
(2) 平成25年度事業計画(案)
収支予算(案)
(3) その他
・交流懇親会 会費 5,000円

※出席・欠席につきましては、別添「返信用はがき」で5月17日(金)までに必ずご返事をお願いします。

※欠席の場合は、「委任状」に記名・押印の上必ずご返送下さい。

※近況欄には、皆さんが楽しみにしている【あなたの近況】を是非お書き下さい。(次号会報に掲載)

各支部総会

支 部	月 日	場 所	支 部	月 日	場 所
和歌山	5/27(月)	ルミエール華月殿(和歌山市)	有 田	5/9(木)	鮎 茶 屋 (有 田 市)
海 草	5/25(土)	か じ か 荘 (紀美野町)	日 高	5/16(木)	花 ご 坊 (御 坊 市)
那 賀	5/11(土)	ホテルいとう (岩 出 市)	西牟婁	4/26(金)	銀ちろ本店 (田 辺 市)
伊 都	4/20(土)	橋本商工会館 (橋 本 市)	東牟婁	5/15(水)	ユーアイホテル (新 宮 市)

詳細につきましては、各支部よりご案内いたします。

今年の年金額は9月まで据え置き、 10月(12月支給)から1%減額。 追加費用の削減は8月(10月支給) からか。(地公退ニュースより)

◎物価反映は据え置き

厚労省は、1月25日に発表された「2013年度平均の全国消費者物価指数の対前年比変動率」0.0%であったことを受け、「2013年4月から9月までの年金額は2012年度と同じ額となる」ことを発表した。

9月まで据え置きとしたのは、例年の物価反映とは別に物価反映とは別に物価スライド特例措置を解消する法律が可決され、10月以降1%減額することが決定されていることによる。

◎物価スライド特例措置解消による減額

現在の年金額は、2000年度から02年度にかけて、物価が下がったにもかかわらず特例法で物価スライドをせずに年金額を据え置いたことなどにより、本来の年金額より累積で2.5%高い特例水準で支払われている。この特例水準は当時の経済状況を勘案して国会の全会派一致で決定・維持されてきたものだが、税・社会保障一体改革大綱で唐突にこれを解消する方針が提起され、解消を盛り込んだ「国民年金法等の改正法案」は11月16日に成立した。

地公退は、退職者連合とともに「本来水準と特例水準の乖離はいずれ解消されるべきだが、物価上昇時に吸収する形で解消すべき、年金額の切り下げには反対」と主張したが、衆議院解散直前に駆け込み可決となった。

なお、14年以降の削減幅は今後の「対前年の物価上昇(下降)」があれば、年金額の引き上げ(引き下げ)と相殺(合算)される。

◎追加費用削減

2012年8月に被用者年金一元化法が可決された。これにより、追加費用の27%削減が実施される。地公退は、廃案となった前回の一元化法案の時と同様に「追加費用は共済年金発足前に関する雇用主責任による恩給の支払い代行に過ぎず、年金原資に公費を投入することによる官民格差ではない。また、共済年金支給水準の妥当性の問題とも理屈の筋が違う。削減は制度的に誤り。」と主張してきたが、今次法案審議では

ほとんど論議されることなく可決された。被用者年金一元化法は2015年10月施行だが、追加費用減額は「この法律の公布日(2012年8月22日)から1年以内の政令で定める日」から実施とされている。現時点では実施時期は明示されていないが、今年の8月施行、10月支給分から減額の可能性が高いと思われる。

◎復興特別税の年金からの源泉徴収

東日本大震災からの復興のための施策実施に必要な財源を確保するために、2011年12月に特別措置法が公布された。これに伴い、2013年～38年の25年間、「基準所得税額×2.1%の復興特別所得税」を納付することとなった。年金に関する確定申告は2014年申告分からとなるが、年金からの源泉徴収は2013年2月支給分から実施される。特措法の審議当時、復興財源に協力することは当然とする社会的合意があったが、その後復興名目でありながら無関係な事業への予算執行例が現れて信頼が傷つけられた。25年の長期にわたって負担を求められる以上、厳密に復興のため有効に執行されるよう監視する必要がある。

確定申告関係説明会

1月25日(金) 書道資料館

県庁を退職した人にとっては、初めての確定申告で、不安もあり、疑問なこともあろうかということで、今年も確定申告関係の説明会を開催しました。

和歌山税務署のご協力で実施させていただき、「所得税の納税額計算方法」「源泉徴収票の見方」、「暮らしの税情報」、「e-Taxでの送信」などの説明を受けました。

参加者は、昨年退職された人が中心で、34名の方に参加して頂きました。また、当日仕事等の関係で参加できないが資料だけでも欲しいという人も何人かありましたので、資料を送付させて頂きました。

実際に確定申告書に記入する方法などの説明を受けましたが、皆さん無事適正な確定申告ができましたか。

支部だより

和歌山支部

「中高年の生きがいづくりとふれあいの場所」と題して講演会

和歌山支部(支部長 尾崎武久)では、2月15日(金)県民交流プラザ「ビッグ愛」で公益事業として講演会を開催しました。

講演会では、“WAC わかやま”の理事長を務めている中村富子さんを講師として招き「中高年の生きがいづくりとふれあいの場所」を題目として行われ、会員40名、会員外40名併せて80名の参加がありました。

講演会では、中村さんから①WAC わかやまの立ち上げとNPO法人の認証②子育て世代と高齢者世代とのギャップ③WAC わかやまの会員である意味が問われたとき④ふれあいの居場所「ほっこりさん」を開業して⑤バリアフリーからユニバーサルデザインへの話があり、中高年を迎えて、自分の居場所を社会に役立つ居場所として真剣に考えるべきと訴えられていました。

なお、中村富子さんが活動している“WAC わかやま”の所在地、電話は次のとおりです。一度訪ねてください。



WACわかやま ふれあいの居場所「ほっこりさん」

〒640-8331 和歌山市美園町5-3-3

電話・FAX 073-499-6915

開所時間月曜・金曜 10:00～16:00

第1・3土曜 14:00～15:00

1階 ランチ・雑貨販売など

ランチ500円 コーヒー200円

2階 ドリーム・スペース

講演会、展示会、会議などに利用できる
フリースペース

基本料金 1回あたり500円+電気代



海草支部

平成25年新年・健康講演会

海草支部(支部長 林 博行)では、平成25年2月2日(土)、KIC 海南医療センターにおいて新病院見学会と健康講演会をセットで企画し、実施しました。(参加者数 38名)



第1部の「新病院見学会」では、海南市民病院事業管理者の小山 陽氏から大変丁寧な説明を頂きました。昭和38年に建てられた海南市民病院は、施設の老朽化が進み、耐震性や機能性などハード面からも抜本的な対策が急がれておりました。海南市では平成20年度に新病院の基本構想を策定し、平成23年3月から建設工事を進めてきました。そして昨年10月末に建物が完成し、「海南医療センター」と名称を新たにし、3月1日に開院します。

新病院は鉄筋コンクリート造5階建てで、1階2階には診療及び管理部門を配置し、3階以上は病棟となります。病床規模は150床となります。設備面においては、最新鋭のMRIやCT、X線テレビ装置などの高度医療機器を導入し、より高度な医療サービス提供できる病院となっております。

私ども県退職者会海草支部といたしましては身近なところに素晴らしい病院が出来たことを大変喜んでいるところでございます。

第2部の「健康講演会」では、海南医療センターの院長山田陽一先生から『身体のしくみと腎臓の病気について』で講演を頂きました。山田先生のご講演は、

身体のしくみやご専門の腎臓病について、解りやすく説明してくれましたので参加者に変好評でありました。



第 3 部の新年会は、海南市藤白「神田屋」で、海南市民病院事業管理者の小山 陽氏と海南医療センターの院長山田陽一先生にもご参加頂き開催いたしました。

冒頭、林支部長の開会の言葉に続き、井ノ本支部長の乾杯の音頭の発声で開宴しました。新年会では、お酒が進むとともにそこかしこで歓談されたり、お酒を酌み交わしたりで皆様方終始和やかに過ごされていらっしやって、閉会予定時刻を過ぎても話の種は尽きないようでした。

閉会の挨拶は石橋副支部長より、「5 月の海草支部総会への全員の出席をお願いします」と言葉を添えて行いました。

那 賀 支 部

第 5 回パークゴルフ大会

那賀支部では、会員の健康増進及び会員相互の親睦を深めることを目的に 5 年前から実施しているパークゴルフ大会を恒例の 11 月 28 日（水）紀美野町の野上・ふれあい広場パークゴルフ場で開催した。当日は 11 月末とは思えないような晴天と暖かさに恵まれパークゴルフ日和、集まったのは本部から参加して頂いた中村顧問さんと中野常務理事さんを含め 28 名。久しぶりの仲間たちとの会話も弾む。受付周辺は、他のグループ（私たちと同じような年齢層）も混じってパークゴルフの人気の高さを実感した。小倉支部長の挨拶のあと、樋上副支部長からルール説明があり、いよいよ 10 時に東コースと西コースに分かれて 4 組でスタート、マイスティック持参の会員の自信たっぷりさに比べ、ホールやスティックをめずらしそうに眺めてちょっぴり不安げな会員もいて、にぎやかなうちにも闘志満々の様子。始まるとそれぞれのホールから歓声や笑い声も聞こえてきて緊張もほぐれたが、スコアはいまいちボールはラフに食われたりグリーン

に乗ってもこぼれる等力加減の難しさを実感しました、ようやくメンバーに余り迷惑かけずにホールアウトできました。

スコアを集計してみると、やはり何度もここを経験している方は、60 台あるいは 70 台前半でまとめていることが分かります。何事も日頃の成果だと痛感させられました。その後名物のカレーをいただいて閉会式。結果は優勝がパー 66 に対して 59 のスコアの辻井昭男さんが優勝、2 位は 61 の岡山博治さん 3 位は 64 南寛児さんでその他、飛び賞などが表彰された。わずかな時間ではあったが、身体も動かさ、少し健康にも貢献できたし、親睦も図れたしで意義ある半日であった。

那賀支部で文化講演会

那賀支部では、2 月 15 日（金）紀の川市西野山 473 青洲の里 多目的ホールで「華岡青洲の生涯」と題して講演会を開催しました。

会員の皆様はもとより、ご家族、ご友人の方々もお誘いいただき会場 50 人収容一杯の参加を頂きました。

小倉支部長開会挨拶の後、我々の大先輩である池田章さんに講師を御願いしました。

池田 章さんは県庁を退職し、旧那賀町の教育長を歴任した時に青洲について取り組まれたそうです。今年 92 才になった今も精力的に講演活動等で全国を回られているそうです。

1. 華岡青洲については、世界で初めて全身麻酔による外科手術を成功させた人物としては知っていましたが、華岡青洲の輝かしい功績について、
2. 高く正しい医道観念を把握し、これを信条として自ら実践したこと。
3. 時弊にまどわず断固として近代的、科学的医術研究に邁進したこと。
4. 近代医薬会において、初めて全身麻酔を調整したこと。
5. 世界で初めて全身麻酔下での大手術という外科の新領域を開拓したこと。

全国から集まった幾千の医学徒（文献によると 1861 名の名前が記載されている）を教育し、すなわち忽ち日本全土を華岡流医学一色に塗りつぶしたことの 5 項目についてわかりやすく説明をして頂いた。講演のあと春林軒（診療所であり、また住居でもある）に場所を移して各部屋の説明を受けた。講演会が終了し、「ええ話聞かせてもらった」「勉強させてもらった」「楽しかった」と言ってくれる人が多くあり、楽しい時間はアツという間というのを久しぶりに体験した半日となった。

西牟婁支部

初めて！地域福祉講演会開催を後援

今回初めて公益目的事業として、田辺市社会福祉協議会主催の「地域福祉講演会」開催の主旨に大いに賛同して後援する団体の一員となり支部会員の皆さんに案内をして参加者を募りました。

全体での参加者は100名を超える盛況で、会員では10数名の参加を得ました。

講師は麻酔科・産婦人科が専門の昇幹夫医師で、日本笑い学会副会長をされて各地で講演活動をなされておられる方です。

会場には社会福祉協議会の会員さんやボランティア関係の方、行政関係の方などが参加され、始まると講師の巧みな話と進め方で始終和やかに、絶えず「笑い」が起こる1時間40分でありました。

人生80年、還暦を迎えこれからの20年を考えるといままでの四縁（地縁、血縁、学校縁、会社の縁）とは無縁の「遊びの縁＝気の合う仲間、波長のあう人」、一緒にいて元気の出る人と楽しい思い出をたくさんつくっていくのが一番!! とのことです。

正にそのとおり！ 皆さん元気で笑って過ごしましょう。

支部では又、機会があれば講演会を後援していきますので、是非会員の皆さんの次回の参加をお待ちしています。

1. 開催日時 平成25年2月8日（金）

13:30～15:10

2. 場所 「ガーデンホテル ハナヨ」田辺市

ゴルフコンペ開催

今年度2回目のゴルフコンペを9月21日（金）にラビーム白浜ゴルフクラブで25名の皆さんの参加で開催しました。

当日はまさに「秋晴れ」の素晴らしい一日となり、好スコアが出ると期待しましたが、ベストスコアが82とやや物足りない結果でしたが、最高齢（78歳）の田中主一さんをはじめとして皆さん元気にプレーされ楽しく過ごしました。上位5名の方と成績です。

東保治さんが2連覇を達成！！されました。

なお、3回目は3月に開催予定です。

			グロス	ネット
優勝	東	保治さん	82	70.0
2位	田中	道臣さん	92	70.4
3位	中川	敏彦さん	90	70.8
4位	庄司	充生さん	89	71.0
5位	金谷	英二さん	93	72.6

磯釣り大会開催

長年行っていなかった「磯釣り大会」を11月30日（金）につり愛好者有志が集い、開催しました。当日は天気にも恵まれ白浜町市江の荒磯で朝早くから出勤し、大いなる釣果があったそうです。これからも続けていく予定ですので参加を希望される方は西牟婁支部事務局、又は幹事の岡崎國男さんまで連絡して下さい。

○釣果

【グレの部】

・1位 松本 蒸治さん ・2位 裏地 好晴さん
・3位 田中 暉彦さん

【イガミの部】

・1位 谷口 公さん ・2位 翠川 忠康さん

【その他】

・1位 坂本 正二平さん ・2位 三本 潔さん

東牟婁支部

新春懇談会開催

日時 平成25年2月2日（土）午後3時30分～

1. 研修会

場所 那智勝浦町福祉健康センター2階大会議室

研修内容 講演「今日からできる認知症予防」
ー最近、物忘れやうっかりミスが
気になりませんか？ー

講師 坂野医院（太地町）院長 坂野 智洋

後援・協力 （社）那智勝浦町社会福祉協議会

参加者 会員19名 一般49名 計68名

2. 懇親会

場所 南紀勝浦温泉「ホテルなぎさや」

参加者 会員18名 招待者2名

当支部の新春懇談会は、例年1～2月に、健康、年金制度、医療制度等の研修会と懇親会をセットにして開催しております。

今年度は、12月上旬の三役会議で、研修会には公益目的事業実施費用として特別交付された費用を活用し、一般住民にも参加を呼びかけことを念頭に置いて案を協議しました。

その結果、テーマは「認知症予防」に関すること、会場は太地町内で、講師は太地町内の認知症サポート医である坂野智洋 坂野医院院長にお願いすることなどを決定しました。

12月中旬から講師と日程を調整するなかで、講演会予定日には研修会後の懇親会場を太地町内に確保できなくなり、講演会、懇親会を那智勝浦町内に変更して検討することになりました。

1. 研修会

那智勝浦町内では、過去に認知症予防に関する講演会が開催されていないということで、町社会福祉協議会に協力要請したところ、後援として協力するとの了解を頂き、まず近々発行予定の町内全戸に配布される定期広報紙に、開催案内を早速掲載して頂けるということになり、一般参加者への呼びかけに弾みがつきました。

一方、退職者会支部会員への案内を締め切ったところ、例年の様に出席希望者が少なく、また暗雲が立ち込めてきました。

一般参加者の数も掴めない状況で、念押しのため急遽地元紙二紙へ新聞広告を掲載しました。

講演会当日午前中から、「あまり参加者が少ないと講師に申し訳ない」と懸念しながら会場設営をしている間には、会場の事務室に数件問い合わせがあり、準備するイスの数を増やしたり元に戻したりと、悩みながらの設営でした。

受付開始後は、開演 10 分前ぐらいに一時受付が混雑するぐらいになり、支部長、副支部長にも講師の応対と受付の手伝いに、他の会員はイスの増設を我先に行ってくれるなど賑やかになり、それにもまして大勢参加してくれたことにほっと胸をなで下ろしたところでした。



(内 容)

支部長から「認知症を知って頂き、朗らかな家族関係を長く続けるためにも予防を心がけて下さい」という内容の丁度 3 分間のあいさつがあり、講演が始まりました。

講師が、自らパワーポイントで製作した映像で、認知症の種類、それぞれの症状や特徴、診断方法、予防などの説明がありました。

予防としては、「栄養バランスの摂れた食生活で、よく噛んで、ウォーキング、ラジオ体操などで適度の運動を行い、積極的に出かけたり、新聞を声に出して読んだりして日常生活の中で楽しみながら脳を鍛えることを勧め、それを長く続けることが効果的で大事である。」

また、認知症の介護のポイントとして、「病状が進んだ患者でも、咎めたり、責めたりする感情的な言葉を受けると、他の記憶があやふやになってしまいまでも心に残り、時には身近で介護する者を『悪い人』としてしまうことがある。このため『尊厳を持って』『その人の特徴を知る』『しからない、無視しない、否定しない』『無理強いはいしない』『その人に寄り添う』などの接し方が大事です」との説明がありました。

講演は 1 時間強でありましたが、認知症の診断に使われる「長谷川式簡易知能評価スケール」からいく



和歌山支部 廣田 定子

お一人様一ヶ限りに弱い主婦

待つ事に耐える努力の診察券

断捨離に悩みつきな戦中派

和歌山支部 浅原 孟

いつの間に周り新築うちレトロ

診察室白衣に血圧びっくりし

くちなわに良いことあるよに拜んでる

海草支部 三宅 保州(保)

この時代に一緒に生きている縁

新聞に今日もまさかが載っている

お神輿も軽トラで来る高齢化

海草支部 梅本 瑞穂

かあさんの料理はやっぱ一番や

喜寿迎え傘寿米寿へ気合い入れ

民謡を活力源にうなってる

次号(七月号)は総会号となりますので、投稿等は掲載いたしません。十月号掲載投稿等は八月七日(水)までに投稿をお願いします。難解な漢字等には、ふりがなをお願いします。

つかの設問を行い、参加者全員が今日のところは認知症の兆候がないことを確認し、楽しみながらの有意義な時間だったと思います。

また、講師からは資料やメモ用冊子、ボールペンの配布物も用意して頂き、参加者には喜んで頂いたことと思います。

2. 懇親会

研修会終了後、「ホテルなぎさや」の送迎バスで懇親会場への移動中も「ワシも、最近もの忘れが気になっていったんやけど、認知症のもの忘れやないことが分かって良かったよ」など認知症の話で盛り上がりましたが、ホテル到着後直ぐに懇親会に移り、湊口副支部長のあいさつの後、兵庫県加古川市から参加の見座哲一郎さんの乾杯で開宴となりました。

出席者は、招待者含めて20名の参加でしたが、永年参加してくれていた方がどんどん減ってきているなかで、初めて参加された方、十数年ぶりに参加された方が旧交を温めたことや、また今回の研修会の話題もあり、あっという間の2時間がすぎ、終わりに加来副支部長のあいさつで閉会となりました。

東牟婁支部会員の皆様へ

支部では、毎年総会と新春懇談会の2回集まって頂き、報告として会報誌に掲載させて頂いておりますが、支部主催以外にも会員同士で山歩き、ゴルフ、俳句や川柳、カラオケ、同年代同士、元職場等で集まっているという話を聞きますので、それぞれのグループで、何処の山を歩いた、誰が優勝した、誰の句が何に載った、何処へ行ってきたことなどの結果を投稿して頂きたいです。

また、会員個人の旅行記的なものや活動内容など一言でも結構ですので、投稿よろしくお願いします。

会員さんの声

写経について

東京都日野市 久保直一

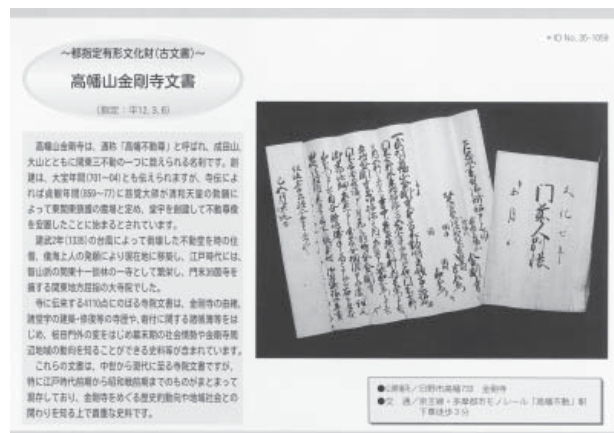
県職員を退職と同時に東京に住んで25年目になるため、心を一新にして、日野市内にある、高幡山金剛寺(高幡不動尊)で毎月開催されている写経の会に通っています。

最初に貫主様から、般若心経についての法話が約30分あり

- 功德は写経によって見のがすことができない重要な要素である
- 写経は祈りとともに成り立ち写経イコール祈りといってもよい
- 写経することの最終目的はなぐさめを得ることかも知れない
- 写経することは行である行はなにごとに真剣なものである
- 富みて道を誤らざる人は少なし 等々

貫主様から直伝を受ける事により有り難く心の底に響きます

その後全員(約300人)で「開経文」をお唱えし、続いて般若心経(読み下し文)をお唱えした後に写経



東牟婁支部 尾崎 嘉代子

太陽脊に母の恵みと暖し

枯草に道なき人の道つけて

峽に来て 趣深き初蛙

和歌山支部 宮本 政昭

閑さず部屋多く余寒の小家族

白和えの味のさだまる弥生かな

春雨の糸の操る男女かな

川柳

和歌山支部 橋本 諭吉

就活は親にまかせて子は軟派

スタンドへ補給のために補給する

インフレだあんパン一箇一万圓

伊都支部 堀江 和夫

結婚日違う答えの老い二人

二、三日居座る嫁の低気圧

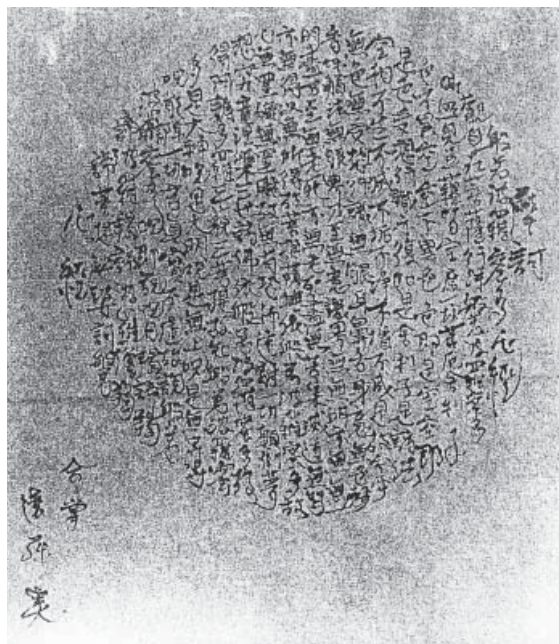
子の夢と親の願いが噛み合わず

用紙に一字一字を仏さまと心をこめて「本文並びに南無大日大聖不動明王」まで書き、続いて自分の願い事・住所・氏名・年月日を書き、最後に合掌して「普廻向」を各自お唱えし写経された用紙は奥殿（経蔵）へ納められます。

「普廻向」

頭、願わくは此の功德を以て、助、普く一切に及ぼし、我等と衆生と、皆共に佛道を成ぜんことを。

また、遠藤実様の般若心経と私のインタビューの書籍の中で、高田好胤師の言われるとおり、般若心経の「空」の教えというものは「とらわれない」「こだわらない」「かたよらない」の三つだと思うのですが、それに加えて「丸い心」じゃないかと思うのです。それを「丸」という形でモチーフし写経したとの事でした。



「丸」をモチーフにした遠藤氏の作品

「高齢・退職者第17回囲碁・将棋大会」の結果について

去る 3 月 7 日（木）、プラザホープにおいて県内の高齢・退職者団体相互の交流・親睦を目的に開催されました。

参加総数は 50 名で、当会からは 12 名（囲碁 11 名、将棋 1 名）が参加しました。

会場は、和やかな中にも緊張感と気迫を感じさせる面々がそれぞれの思いで盤面と向き合いました。

日頃の実力を十二分に発揮できた人、単純な読み違いで悔しい思いをした人と色々ありましたが、皆さん粘り強い勝負で 1 日を楽しく過ごしておられました。

成績は、次のとおりです。

囲碁の部

A クラス 準優勝 木田 耕藏さん（和歌山支部）
4 位 富田 栄一さん（有田支部）

将棋の部

A クラス 優 勝 土井 昇蔵さん（有田支部）



俳句

海草支部 岩間 文鳥

舟のゆれまだ身の内に春の宿
出会ひがしらわらび一握頒けらるる
菊根分け彼の極道も家を建て

和歌山支部 阪上 明男

冬枯れの道ひろぐと山に入る
梅の香につゝまれている野の仏
春の川広きところにかいつぶり

東牟婁支部 木本 瑞子（殖巳）

開花待つあやめの蕾鋭かり
花閉じて小待宵草屋の浜
地割れして筍穂先の薄みどり

海草支部 口井 トシ子

去年今年手もとはなきぬ葉箱
食積の変はらぬ味を喜べり
新築の木の香の中の初句会

長寿のお祝い

次の方々が、めでたく80歳の傘寿をお迎えになりました。益々お元気でお過ごしなされますようお祈り申し上げます。(敬称省略)

※個人情報保護のため掲載できません

会員のご逝去

次の方々が、ご逝去されました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称省略)

※個人情報保護のため掲載できません

短歌

文

★

芸

★

欄

みなさんの広場
です。どしどし
ご応募ください。

和歌山支部 田沼 小一郎

寒稽古柔剣道ではアリマセヌ

クラブ引つ下げいざ参ろうか

雨風や霧の中でもいとわずに

プレイしたのが今は懐かし

大雨に一寸先も見えぬ霧

ヤムにヤメれぬ遠征ゴルフ

(十数年前に九州遠征のとき。当時、大雨警報発令中)

那賀支部 赤井 順子

友と行くウォーキングの冬時間

六時厳守に始まる一日

如月の空明けくればひた嬉し

静けさ老いの窓辺輝く

カーテンを開けて春日を入れむとす

雛祭れる如月の部屋

西牟婁支部 榎本 せい子

再起誓う四十歳のイチローは

支えくれたる妻を称える

はからずも出会いし友に自分のみ

しゃべり続けて夕暮となる

ヘルメットとマスクの間に目を凝らす

単車に命預けたるまま

職員退職者会の社団法人解散に伴う 各種公益目的事業の実施状況報告

平成 24 年 3 月末で我が職員退職者会が社団法人を解散し、4 月 1 日より一般社団法人として新たにスタートいたしました。

この移行に伴う公益事業の一環として、県内 8 支部において各種の公益事業を実施いたしました。各支部の役員さんはじめ会員の皆様方の多大なるご尽力により大きな成果を上げることができました。(会報掲載記事参照) 皆さん本当にご苦労様でした。

また、一部を特定寄附ということで、去る 3 月 28 日に社会福祉法人和歌山県共同募金会へ寄附させていただきました。(写真)



尾崎会長から共同募金会会長の島 和代様へお渡ししました。

事務局からのお知らせとお願い

1. 会費の納入についてお願い[平成 25 年度会費]

・[口座から自動引き落としの方]

紀陽銀行、農協、郵便局は、5 月 7 日(火)、その他の金融機関は、5 月 27 日(月)が引き落とし日となります。

・[労働金庫の口座からの自動引き落としの方]

8 月 15 日(木)が引き落とし日となります。

・[振込での納付の方]

この会報に同封の振込用紙で、5 月末までに納付をお願いします。

・[3 月末退職の新入会員の方]

後日、振込用紙をお送りします。

・[過年度会費が未納の方]

本年度分と併せて納付をお願いします。

2. H25 年度版「県職員録」が 5 月頃発行予定

[申し込み受付中]

「県職員録」を軒旋しますので、ご希望の方は 4 月 19 日(金)までにお申込下さい。

価格は未定ですが、昨年と同程度であれば、800 円位です。(郵送の場合は、別途送料 350 円位をご負担下さい。)

3. 会員名簿(追録)の発行について

9 月に発行予定ですので、住所、電話番号、勤務先等を変更されている方は、なるべく書面(ハガキ等)で事務局までご連絡下さい。

(通常総会出欠ハガキの近況欄に書き添えていただいても結構です。)

4. メールでのご投稿やお問い合わせ

会報の「文芸欄、会員の声」のご投稿やお問い合わせ等メールで送信していただいても結構です。

E-mail アドレスは、

w-taisyoku@ec5.technowave.ne.jp です。

編集デスクより

会報に関するご意見やご要望等をお寄せ下さい。

投稿もお待ちしております。「会員の声」は原稿用紙 2 枚以内、「文芸・俳句等」は 3 句以内、その他写真等をお気軽にお送り下さい。

★次号(7 月号)は総会号となりますので、投稿等は掲載いたしません。

10 月号掲載投稿等は、

8 月 7 日(水)までに

お送り下さい。

